

# 事故発生

例

13:20ごろ（昼休み）  
2年生男子が、運動場のうんていにとびつこうとして、手を滑らし転落。下の横棒で腹部を強打。

**養護教諭不在の場合**  
・学校医の指示を受ける  
・教職員が応急処置をする

職員室・保健室に連絡

教職員・養護教諭現場へ行く

顔面蒼白 四肢冷感 エビのような体位から  
病院受診の必要ありと判断

養護教諭は、教職員の協力で  
救急処置を行う  
教職員は、管理職に報告

校長に受傷児の様子と病院受診の必要性を  
説明 救急車・タクシーの手配をする

養教または教職員

養教または教職員

担任または現場にいた教職員

管理職

病院へ受診  
可能か確認

タクシーを呼ぶ

保護者へ連絡

経過の記録

**緊急時は救急車要請**  
意識不明、呼吸困難  
頭・腹部打撲、大出血  
異常な苦痛の訴え  
その他職員の判断により

・自宅または緊急連絡先  
・負傷の状態、状況の説明  
・救急処置をし、病院受診の必要性  
の説明  
・受診病院の確認  
・受診病院が確定後、保険証を持参  
し、学校（病院）へ来てもらう

1. 学校名
2. 日時
3. 児童氏名
4. 事故の状況  
(症状など)
5. 対応・経過

★緊急を要する場合は、ただちに  
救急処置を始める  
呼吸停止・心停止…心肺蘇生  
大出血…止血

本人またはその場に居合わせた  
児童から具体的に聴取・確認

1. いつ
2. どこで
3. 何をしていた
4. 誰の・どこが
5. どうなった

市教委へ

「事故報告」を作成、提出  
必要な場合（重傷等）は、  
その後の経過について地教委  
へ連絡

付き添い  
タクシー  
救急車

状況を把握し、校長が決定  
・養護教諭  
・担任、学年主任  
・現場にいた教職員  
・教頭、校長

・安全管理の点検、危険物の排除に努める  
・事故の考察と反省から、事後の対策、指  
導を行う

病院治療

保護者とともに、医師より診断の結果を聞き、  
指示を受ける

報告  
学校関係

- ・学校へ連れて帰る
- ・自宅へ送り届ける
- ・保護者が連れて帰る
- ・入院させる

★窓口の一本化  
事故に対する問い合わせ  
は、校内で責任者を定める

**保護者不在の場合**  
治療後、管理職・担任から  
十分説明して、了解を得る

振興センターの手続き

日本スポーツ振興センターの  
制度について

- ・医療費が5,000円以上  
(保険証使用で1,500円以上)
- ・給付までに2~3ヶ月かかる
- ・保護者の立て替え払い

お見舞い・電話で  
その後の様子を聞く

市教委  
36-8741

## 移送手段

救急車 119  
徳島中央広域連合西消防署 42-2029  
土柱タクシー（谷島営業所） 35-2158  
**学校医**  
林 内科 35-6226  
川人眼科 35-2743  
酒巻耳鼻科 0883-53-2525  
安田歯科 35-7111

## 専門医

阿波病院 36-5151  
さかまき整形外科 35-7880  
笠井外科 35-2720  
和田整形外科 0883-53-8811  
吉野川医療センター 26-2222  
森下医院 35-5656  
重清外科 35-6160  
板東眼科 088-695-5139  
岸整形外科 25-3133  
阿部整形外科 24-4880